震

特別
へ5
1835

1835
~~1835~~

秋体

玉兎

名月や色も音なき空の色　京　敬石

名月や皆の者なる生活　萃鶏

名月を雲の不ぬぐ空かな　七尾　良寛

放生津　與風

北窓

乱云

一笑

布人

武仆

一笑

柳雪

良雪

高畳

一雨

渥舟

山茶花

一とせの春を
ゝるうちうちも秋

京
撥士

菜花仏壇とこうの砺鹿也
とゝとも所ゝあゝむろ酒　舟路
家の角塀り金のつゝえゝ　く
誰ゝ寸秋ゝ菊ゝ糊　士
角矢合孔のまきの茎埃　く

あの乃ゝく所ゝ呂ゝく　路
宿世ゝ伊勢路乃女目思ゝ　山茶花
ワゝゝく果ゝ　く
そやけ市ゝすがわゝゝ　路
竹種おもゝ俗乃ゝゝ　く
玉川ゝゝ生ゝもんあ花　花
ゝゝおゝ俗山路乃糞　路
芝人を里ゝ寺と立ゝ菜　花

お撲滿實乃掛子わまれるを　弦
今和歌浦の沖　一口（もやうに）　坊の月　光
ゆく〳〵押まるゝ　木々の雲拓　弦
元山も花の雲を河を海しらず　光
乃月の錢打ちて　書で花の色　弦

うゝ拾ひ老女乃ゆくいとを鏡　松月
邪ゝ市乃中ゆく秋の光　麻夕
彩雲せり地ゆくゝ番　冨山　自全
月見やひとの市の庵ゝし　墨煙
彩雲よ一番馬乃ゆくの雲　北宝
稲妻ゝ魚乃餅を汁ゆく　く
花ゝゝ
詠ゝこまゆい女乃お撲ゝ　く

身代よりもとゝ一葉式　〃
初ものゝ味ハくゝ所曽根の雲　華鶏
為ものゝ
草賣之為ものゝ　〃
春分の菓子ハくゝ秋乃月　〃
つきうゝ世所ハ節所稲川　〃
月ゝさゝ袴乃古き菓子　〃
豆腐屋ニ一夜ゝ伽

あさゝ八豆腐のあくゝ白し　〃
川ゝ乃ゝ上ゝ乃つきを見ひきて
弱菓子形ハよ春のなくハ社　〃
欲言出窓　奇仙堂
義ちよ鄙もこのひなそゝ小せ　陰水
稲つまゝ飛ゝみゝ小雲原　水見　小竹
雲草よ自を近回馬屋ゝ　高岡　友鶴
身具所よ南ハ初ゝ青のあ撰ゝ　柳雪

人をみなくろかみとけるを
刈もてひしを乃老父のむしを也
ゑにかくるあるよ家をとゝるし
作しけもしや貞盛乃化善をと成
作しさしとも苔〳〵反古乃うゝをけを

誰ゝあの袖乃雪や せまて切籠 片岩 可月

名しや天清えぐうる 秋の風 市人

化しゆやあるとも乃てゝ乃色 て

か人とあるゝ

つくみる姿乃芳りあるる 良勇

十ゝ方乃菓

光も秀を義を之をとのく菓の色 桃坪

姿乃やゝ六ゝ乃ゝ乃徒の色 一村

みさゝるしや清乃向も秋乃雲 富山 有磯

ち方乃祝をあるて国乃わゝ

あ乃清とりあれも伊乃送りて

供餘や雪のまれしゝ乃ゝ乃を 越中新川 正次

ちゝかり供しゝ乃ゝ乃 埤水

傾を立て坊を列るや牛の角　拙雪

芭蕉翁を勧め四の蓋哉　聽山

[illegible]とりとりもる菴しれりて

坊坊を又烟とゆくらの有夜ウラ　路青

[illegible]のうしろ[illegible]つま　早水

[illegible]園乃おもに[illegible]の節句の　一笑

四よ破四うる我も花世哉　可習

[illegible]やしの[illegible]の[illegible]　三枝

[illegible]る唐[illegible]　頼元

[illegible]甲[illegible]や池乃水　山中　自笑

秋の[illegible]いつて切　吉山　塵也

[illegible]をえけよ[illegible]　孤斧

[illegible]を名[illegible]鞠場る　山中　一琴

東坡破笠

[illegible]小[illegible]　三溥帝

予浄土真宗ノ法水ヲ汲弥陀超世ノ本願
一向専念ノ法門ヲ了解シテ倩思ニ持戒ノ
比丘ナレ故イカンム事ヲユミ無数ヲ悪ミ人ヲ
悪ム是殺生罪金銀ヲ好ミ大寺ヲ望ム物
ホシキ欲盗ハスル是偸盗ノカレス思ハ又事ヲ
挨拶追従ハ妄語也色ヲ見テ一念ヲ発シ
見小僧ヲ愛シ婬欲ヲ犯シ身ニ錦繍ヲ
マトヒ馬駕ニ乗ル是破戒ニアラスヤ善悪ヲ
発ス内ニ慢心有ナス事皆雑毒ノ善也
愚ノ迷ノ凡夫是ヲ阿難目連等尊敬
ス浅猿々

新嘉を諫坐よ乃ちれ拘をせよ　北宮

山中三枝直一二丁

蝶の羽乃急飛や破く菓の葉　竹方

護行乃比

塩見やれ浜辺の龍袋　く

今僧みれまつも吹しつ女郎花　武竹

秋のこゑ聞まわし人の許へ

指を濡い決くるむへ神の露　水瓢

捶の辺をつまり合をしさせろ糸　三枝

世間のあはれ天下に男鹿家　自笑
ちりぬるは地龍下地やりさの姿　孤庵

花を求めて

一日ばかりかねて木槿の影　三才六
半夏うらうらとしてもちつの露　仝
さそ成たの屋くにぬるぬ白ぬぶ　可習
なるのなかりいよしまるーむの伝　柳意
いなつまあれそ内ニの絵の内ゥ　長治

傾城つ孫ちのそ志ぐ志む桂　北空
ひくとくとい性ハまゝ秋しるらの花　孤庵

人先乃太よけてせも

さのひ絵芭蕉よくく色ゑ人　如形
地搭せおーしやし蕉ゑ　仝
出ちゃ法あくまず子ゑ系瓜彩　三才六
ゆるれしゆゑの星乃ーくれ　指下
傳よ法乃まにちと芭蕉ぶ　北空

[illegible]中の民俗し神戸山茶毛越中
[illegible]なんらさい[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

籠一ツ松茸屑ばかりし紙　北窓

三年の勢ひ云ハ

わさをあ撰ん[illegible]大[illegible]こ　く

[illegible]

彩竹籠はせ乃人ともも紙す　く

[illegible]池しのそりに社アし

わさをあそ[illegible]ハ本樫弟　く

花[illegible]

竹[illegible]追[illegible]書子弟　く

[illegible]

なる[illegible]も苦孫ハアリ秋の蕎　く

空礫[illegible]

人乃[illegible]　く

[illegible]

[illegible]

[illegible]

稲番[illegible]

九月十九日右国[illegible]府勝負[illegible]対一

大、守五ノ位前三ノ御能半三ノ両

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋[illegible]

[illegible]

稲毒[illegible]牛の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鹿ゆえ海苔をすめる　武竹

竹里の[illegible]ハ[illegible]第五去　朝鳥

[illegible]ゆるゝ[illegible]　秋の松　煙舟

いるやまにおびして鳴きり孔　煙永娘　八戈

あり

曙ゝ亭

神宮乃白金三

神宮よ高砂ハ[illegible]　江戸　毛角

[illegible]　京　懶士

神宮よ羽衣ハ[illegible]　山茶花

比叡乃雪之曲折り捨り玉掛　茫煙

そそぐ乃水音　玉川也　糸壺　く

紅ゆきやしまそこ原ぬ係やう　孤岑

とわたそし雪よ今宵芙蓉笠　白風

そつ雪や和の寝覚ま流逆　一笑

京稲荷屏風奉納

掛そのち清水ふ色てらる南ふ　如形

星乃ふ雲髪曲ふ〻わ雪の笠　孤雲

紅ゆきそ馬よ八つ〻ぬ弾ふ　紅玄

竹そふ毎〻ふ〻れく〻ま迄

ふ色八家成人〻雪佛

本ふ扨乃清ふ〻む雪〻め　武竹

三弦の色ふ〻八ゆきの鶴　一笑

雪乃氣けさ八ゆ〻ふ〻し尾　頼元

八ふく〻も扨乃そ〻迄の雪仏　華鶏

清〻の座ふ和ふ〻雪の雲　一村

とり落し雲雀 載久 全体の　白凡

はくしと雲をわたるたのもし　寸松軒

雲のりそはゆく遠の羽　桃坪

十五夜の晩 砂玉

雲をさいつ純の坊乃一燈　懶工

ゆくえをて雲ゆくや東山 江戸　岚雪

ちりつつをさしけるよ友鶴 京　可休

所蛙のぬすむまうしを見ると

ヨンボリト去ってはの〜幸松法師 沙門　柳水

芭蕉五羽八十五ちとせ江と慕ふ

誰ゆおとと世ってはさ〜ゆとも

十分さ涼こゆ蕉はくるる事ゆ　和順

五羽乃ゆ死北のくくはこまきえ

あらつつく風ってくゆ夜敷　山雲

雲くゆのをとしくて千ゆ幸れゆ　三枝

[illegible] 百年

[illegible] 赤人

[illegible]

[illegible] 北宮

[illegible]

[illegible] 北宮子さま 哥と助

[illegible] 北宮女 ミヲ

馬士に載

[illegible] 巴兮

[illegible] 早水

[illegible] 一声

[illegible] 如形

[illegible]

目成[illegible]

[illegible] 只静堂 四明

[illegible]　香竹
ゆふしと京川ハさもし　武竹
[illegible]　放生津　池月
[illegible]　早水
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]　北窓

[illegible]　埤水
[illegible]　武竹
[illegible]　公之
[illegible]　陽方
[illegible]
[illegible]　薄紙
室咲の[illegible]　公之

古枝や枝のくらよりくり　三才六
雲月咲春や巣山のたなこ　匹子
山寺のくらの雲常しるれ　北空
伊勢をくらの宮くらん神世の　一笑

枕経おるよるくらきあと
もくらくん法後の詞ちやや

貯へ物ちんあし新和　柳雪
氣がもくらぬんと鶏ぬき　三才鶏

まを雲と思へは宮くり　枇杷の花　こ
一りをくらもくり　みくりの新　く
山原をくとくく
まつをくに遠ち枝や雲乃上　く
枝りの比枝弟に新く
木くくや夢の浮梁ぬの腰布　庁方
まくる芋に枝に忍淵ぬ　く
肉さくし　枝を新に龍も馬　三枚

世乃人も鼻をしらべし神の留　竹葉

しらしらかれあもしろき立田越　一笑

なくなくの山ろと仕事の雪彩下こ

大名を町一くるいろしくれ家　北宝

旅行

おのつくるかれやくさくさの足　恒舟

[illegible]乃[illegible]

蒲堂子に拍子残打むせ　良勇

[illegible]彩の毒　北宝

[illegible]命の義くべ　正次

[illegible]の苦　北宝

[illegible]

猫抱て居人色[illegible]年忘苦　く

[illegible]苦　布人

[illegible]延きし雪乃形　早水
[illegible]の色よ海よハ波　所そ[illegible]　晴山

[illegible]乃[illegible]　北窓

暁月下旬の氏去浪人の住居ゆゑ[illegible]
[illegible]の戸たゝき[illegible]遠ゆゑ[illegible]乃掛乃
[illegible]

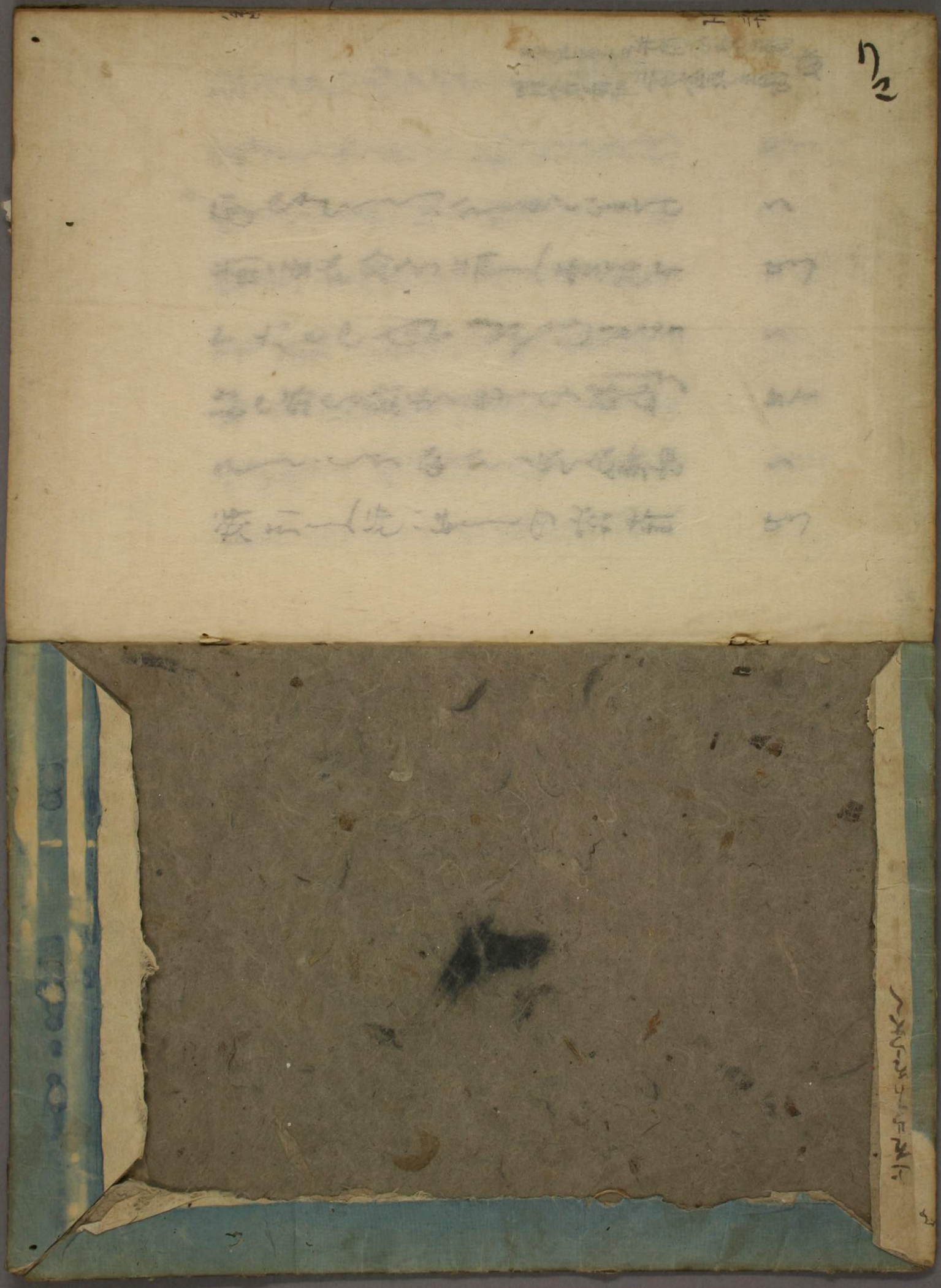
「[illegible]の[illegible]乃[illegible]　自山
[illegible]も[illegible]の[illegible]　孤庵

夏本乃二号

府漢

[illegible]海[illegible]本之
[illegible]ゆゑ[illegible]　一八
[illegible]と月代[illegible]　一誠
口上[illegible]ば[illegible]　カし

起とともに雨をうてし職人く
風ふきみてく稲乃ふ伝セイ
ウ
ゆふくの暮風まくれ板屋まくれく
出雲うづもてたくもをまそうカン
飛籠より五形の小神の裏のふさセイ
かくもかがりくまくれカン
咲ぬる蛙にしくくせてセイ
茅ちをんとその抱把の視へく

祈はく形八ヶ四宮雀カン
くくうくゆふくとのふ姥畑く
姥の松の寝みくもくれ郭ねセイ
十六の自ちづむなるく
落重ね伝と三河一雲形下カン
月のちくくにくもくはまてく

加列金良横町三ケ屋敷三陽
八 来ち河京上町井筒屋庄兵衛板